

第80回 未来医療セミナー

2014.9/8
18:00-19:00

大阪大学吹田キャンパス
最先端医療イノベーションセンター
1F マルチメディアホール

19:10～ポスターディスカッション(情報交換会)
1F ホワイエ

モデレーター：澤 芳樹 (大阪大学大学院医学系研究科)

“センダイウイルスを用いた 癌特性の解明と治療応用の進展”

金田 安史

大阪大学大学院医学系研究科



センダイウイルス(HVJ)を不活化した粒子HVJ envelope (HVJ-E)は多彩な抗腫瘍効果、すなわち抗腫瘍免疫活性化と癌細胞選択的なアポトーシス誘導作用を有する。最近、神経芽腫細胞においてはネクロトーシスを誘導することも分かり、その分子機構も解明された。またIL-12との併用により抗腫瘍免疫誘導の増強機構も明らかになった。HVJ-Eまさに複合的な分子標的薬といえる。これらの抗腫瘍作用を基に臨床研究も行われ、さらに医師主導試験に進む予定である。一方、腫瘍組織への標的化も大きな課題である。私達は、ウイルス蛋白質の修飾による標的化ベクター作成法に加え、最近、血小板をベクターにして全身投与によりHVJ-Eを腫瘍組織へ送達させ、抗腫瘍効果を発揮できることを見出した。最新の知見を紹介したい。

主催：大阪大学大学院医学系研究科
共催：未来医療交流会
後援：文部科学省橋渡し研究加速ネットワークプログラム
大阪大学「TR実践のための戦略的高機能拠点整備」
厚生労働省早期・探索的臨床試験拠点整備事業
大阪大学医学部附属病院未来医療センター
大阪大学臨床工学融合研究教育センター

お問い合わせ：
大阪大学医学部附属病院未来医療センター
ctr.osakauniv@dm.med.osaka-u.ac.jp

<http://www.hp-mctr.med.osaka-u.ac.jp>

ポスターディスカッション(情報交換会)

1. 先天性心疾患における遺伝子発現制御機構 遺伝子治療学 二村 圭祐
2. 高機能化不活化センダイウイルス粒子による癌免疫療法の開発 遺伝子治療学 佐賀 公太郎
3. 不活化センダイウイルスを内包した血小板ベクターの全身投与によるメラノーマ治療法の開発 遺伝子治療学 西川 智之
4. 不活化センダイウイルス粒子はヒト多発性骨髄腫細胞のc-Myc 抑制を誘導する 遺伝子治療学 Ying Zhe Jiang
5. CRISPR/Cas9システムを用いた遺伝子機能解析 遺伝子治療学 長野 広通